高根沢町における 子育て世帯の居場所づくり

地域名:高根沢町 パートナー名:高根沢町企画課

ヽートナー名・高低バ可正|

地域の背景

高根沢町は宇都宮市の東側に位置する人口約 29000人のまち。ホンダ関連企業への就職を機 に流入してくる若者が多く、20~30代の人口割 合&婚姻率が県内1位である。

工業団地のベッドタウン

・子育てしやすいまちづくりによって、長く住み続けられるまちを目指す
 ・子育て世帯が高根沢での暮らしに「居場所」を感じることのできる機会を創る

・子育て世帯がゆっくりと過ごせるような<mark>居場所が少ない</mark>

・結婚や出産を機に、町外へ転出する人が多い

丸山琉貴

竹原明子

大森宣暁先生

西村知佳 大嵜紀明

ヒアリング調査① 目的:高根沢町における子育ての現状を知るため、町内で子育てに関わる方を対象に調査を行う。 仮説:イベント実施により子育て世帯の居場所を作ることができるのではないか。

23班

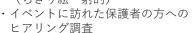
課題・目的

	①子育て当事者(児童館きのこの もりにて)		③町の子育て情報シェアサイト MaiMachiの運営者	▶ 調査を踏まえた目標設定
	・児童館は子ども同士、親同士の 交流の場 ・イベントへのニーズがある	・宝積寺駅前で定期的にイベント を主催している施設の方に、イベ ントの実施について相談	・他県からの転入者が多く町内で で孤立してしまう親の存在を知る ・高根沢町の親の個人的なニーズ を拾い上げるイベント内容にする	<u>子育て世帯の思いを反映さ</u> <u>せたイベント実施</u> =親一人一人に目を向ける
	・児童館職員から、大人にボラン ティアが集まらないという声	・0日閉催予定のイベントでブー		子育て世帯の居場所を作る

イベント/ヒアリング調査②

目的

- ・子ども向けのイベントの感覚を掴む
- ・子育て世帯のニーズを把握し、今後
- のイベントにつなげる **方法**
- The Creators Department主催のイベントに子ども向けブースを出展
 (ちぎり絵・射的)



結果

- ・ちぎり絵は、多くの子どもたちに参加していただけた
- ・「子どもの遊び場の充実」「自然の中でのアクティビティ」
- 「様々な習い事を経験できるようなイベント」などのニーズ
- ・イベントに積極的に参加しない人や、子育てをしていない人の 意見は得られなかった

ヒアリング調査③

<u>コミュニティデザイン</u>

建築都市デザイン

<u>社会基盤デザイン</u>

グループ指導教員

目的

・ヒアリング②を踏まえ、支援する側の意見を知り、子育て世帯の 暮らしを多角的に捉える

対象

- ・児童館きのこのもり・子育て支援センターれんげそうの職員の 方、利用者の方
- ・こどもみらい課・生涯学習課・保健センターの職員の方

結果 〈きのこのもり・れんげそう〉

- **さのこのもり・れんりてう**/ 町内にけ旧音館笠朝ヱで遊ぶて提訴が多/ →
- ・町内には児童館等親子で遊べる場所が多く、対象年齢も幅広い ・他の保護者や職員と仲良くなり、ストレス発散の場になっている
- ・子育て支援計画に基づき、行政のサポート制度が 手厚く行われている
- ・母子手帳アプリ「母子モ」で育児に関するサポートを行っている
- ・行政のサポートは自発的に受け取りにくる人にしか提供できない

最終活動

これまでの活動を踏まえて

子育て中の親子の居場所となりうる場所や、行政によるサポートは一定水準整っており、私達大学生の立場からは、**子育て世帯への直** 接的なアプローチではなく、まちの一人一人が子育て世帯を思いやる空気感をつくるのがよいのではないだろうか。

最終活動① 子育てアプリ「母子モ」でのアンケート調査 ・「子育て世帯のまちでのほっこりエピソード」の調査 →調査期間 12月9日~12月31日 →調査対象 高根沢町の子育て世帯 **最終活動② 子育て世帯のほっこりエピソードポスターの作成・掲載** ・関わりの深さに関係なく、子育て世帯とまちの人がどのように 関わっているか知ってもらう ・子どもと関わる機会が少ない人の子育てへの興味関心向上

寄せられたエピソード

- ・スーパーで店員さんが買い物後のかごを荷物詰め場まで持っていってくれた
- ・ベビーカーで散歩していると、犬の散歩中の人などがにこやかに声をかけてくれたり、「お疲れ様」などねぎらう言葉をくれたりした
- ・ホテルのロビーでピアノを弾いていた従業員の方が、娘が近づくと「一緒に弾こう」と言って、娘の好きな曲をたくさん弾いてくれた







小島陽太

古川千紘

法月匠海